

三越伊勢丹支部
ボイスタイムズ



三越伊勢丹グループ労働組合
Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F | E-Mail imgu@imgu.or.jp
ホームページ <http://www.imgu.or.jp>
●発行: 2025年9月30日 ●発行人: 杉田基彰 ●編集人: 小松義尚
●編集: 三越伊勢丹グループ労働組合 三越伊勢丹支部 ●デザイン: プラスワンスタジオ



特集 支部渉外活動

今号の主な内容

- 4支部合同情報交換会 p3
- 三越伊勢丹グループ労働組合
× 東急百貨店グループ労働組合
情報交換会 p7
- 海外流通視察セミナー in マレーシア ... p9



全ての情報は
HPにて発信



共済会情報も含むお知らせは
LINE



支部の情報なら
Viva Engage



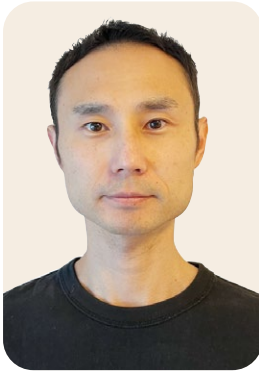
こちらから本文を
お読みください
(ユーザー名: 従業員コード10桁
パスワード: 生年月日8桁)



VOICE Times 34号発行の目的について

VOICE Times34号については、「兼任役員の活躍」を現場活動以外の視点から紹介し、メンバーの組合活動への理解促進を図ることを目的としています。
これまでの発行では、VOICE Times30号で兼任役員と現場活動、VOICE Times32号で分会ごとの現場活動・支部の分野別活動などを取り上げてきました。
今回は、分会・支部・企業を越えたコミュニケーションを通じて活躍する兼任役員の姿を伝えることで、組合活動の広がりや意義をメンバーの皆さまに感じてもらうことを目指しています。

特集 支部渉外活動



三越伊勢丹支部
書記長
杉田 基彰

渉外活動の意義とは

組合活動における「渉外活動の意義」についてお話させていただきます。
外部環境がめまぐるしく変化する中で、働くすべてのメンバーの為の組合活動を社内だけで完結させるのではなく、他労組や幅広い業界団体、外部機関との接点機会を設けて情報交換を図ることが、とても大切だと考えています。
その理由の一つには、既存の枠にとらわれず、広い視点や広い視野で物事を考えるきっかけにつながり、新しいアイデアや考え方で問題解決を図るヒントを得るために欠かせない取り組みだからです。
併せて、外部とのつながりを持つことで、自分たちの課題が他の現場でも共通していることに気づき、双方で話し合いながらより良い解決策を得られたりする機会が増えることもメリットだと考えています。

メリットについてもう一つ付け加えるとするならば、他労組との情報交換会は、現場のリアルな声や取り組み事例を直接共有し合える貴重な場ということです。

たとえば、人事賃金制度のあるべき姿や、働き方改革、ハラスメントなど、どの組織でも共通して課題となっている多岐にわたるテーマに対し、他労組の先進的な取り組みを学ぶことで、自組織に活かせる気づきを得ることができます。

また、組合活動だけではなく、本来業務における共通の悩みを持つ組合兼任役員同士が顔を合わせることで、社外ネットワークも強化され、困ったときに相談し合える関係性が築けることも大きなメリットだと感じています。

最後に、今後の渉外活動において単なる情報交換だけにとどまらず、課題解決に向けた「共創」のような形での連携を強めていきたいと考えています。

たとえば、合同勉強会や共通課題に対するグループワークを通じて、同じ志を持つ労働組合同士だからこそできるアクションを増やしていくことで、組合活動の存在意義を社内外に示していきたいと思っています。

また、今回取り上げさせて頂いた東急グループ労働組合様との懇話会で驚いたことの一つに、社会人経験の浅い若手社員の方の組合活動への参画が目に残りました。

今後の会社の未来と、働くメンバーを支える労働組合の将来のためにも、幅広い年齢層や雇用形態の方を含めたすべての組合員の参加意欲を高めるためにも、外部との交流の場を積極的に設け、多様な価値観に触れる機会を組合活動の中で広げていきたいと考えています。

4支部合同情報交換会

2025年5月22日(木)～23日(金)高松にて開催
 〈参加支部〉高松三越・新潟三越伊勢丹・仙台三越・三越伊勢丹

目的

本交流会は、支部を越えたつながりを深め、互いの組合活動や業務への理解を広げることを目的として開催しました。

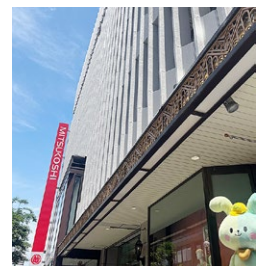
執行部同士の情報交換を通じて、自支部の組合活動に活かすヒントを得ること、また本部の方針である「I (ONE) MGU」の考えのもと、支部間のコミュニケーションを促進し、組織全体の連携を強化することや、会社間での情報共有を通じて、日々の業務における新たな「気づき」の機会を創出し、今後の活動や対応力の向上につなげていきます。

また中期経営計画の柱である「まち化」についてもまちづくりの有識者である西成典久教授にお話を伺い、組合の視点でまちの課題やまちづくりにおける新たな視点について意見交換を行いました。

カリキュラム

各支部近況報告	決算状況、賞与、店舗トピックなど
VOICEサイクル好事例共有	三越伊勢丹支部からは浦和店の取り組みを共有
ディスカッション①	「組合活動好事例」・「兼任役員が考える組合活動」とは
ディスカッション②	「理想の組合の姿・理想のVOICEサイクル」とは
講演 香川大学 経済学部 西成典久教授	高松における「今後のまちづくり」の方向性
グループワーク①	高松三越およびその周辺エリアを題材に百貨店を中心としてどのようなまちづくり、都市形成を進めていくべきか
グループワーク②	自分たちの商圈における百貨店を中心としたまちづくりに活かせることは

香川大学 経済学部
西成 典久 教授



参加者の感想

参加前の気持ち 4支部との交流会には初めて参加しましたが、昨秋に執行委員となり、定期本部大会に初めて参加した際に感じた、全国から集まった役員メンバーが旧知の仲間のように接し合い、熱く語り合う独特の連帯感が印象的でしたので、今回の交流会についても参加前から不安はなく、ポジティブなイメージを持っていました。

参加しての感想 複数回行われたグループワークでは、毎回メンバーが変わる編成の中で、さまざまな考え方に触れることができ、多くの気づきを得ることができました。地域店と私たちでは決定プロセスや課題に違いがある一方で、同志としての共通項もあり、お互いに良い刺激になったと感じています。また、首都圏の仲間とは定期的な組合の集まりで顔を合わせる機会はあるものの、分会が異なるため接点がありませんでしたが今回の交流会を通じて関係を深めることができたのは、当初想定していなかった嬉しい副産物でした。

今後の抱負 組合活動は経済合理主義の視点ではなく、人間主義の立場から声を聞き、行動することが大切であると改めて感じました。誰もが楽しく働きやすい環境をつくるために、自らが動くこと、そしてハラスメントのない職場環境を整えることが重要だと考えています。多くの人、特にサイレントマイノリティの声を拾えるよう、組合役員としての自分の存在を広くアピールしていきたいと思えます。



執行委員
中村 則一
国内出向スタジオアルタ

4支部合同情報交換会



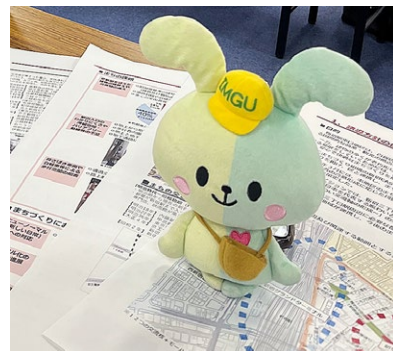
執行委員
風間 佳子
国内出向
三越伊勢丹
ヒューマン・ソリューションズ

参加前の気持ち 毎回、各支部の取り組みは自分の想像を超えることが多く、今回も持ち帰るものが多くなるように積極的に質問をしようと思って望みました。

今年4月に出向し、自分の働く環境が大きく変化したので、現在の役割のお話がありすぎ不安はありましたが、その変化のおかげで各支部が「人数が少ない中でどのような工夫で役割を果たしているか」を自分のテーマとして参加しました。

参加しての感想 三越伊勢丹支部は人数がいる分、活動はこまやかにできていることが確認できました。裏を返すと少ない人数になった時に兼任の立場で自分ならどこまでできるのかを考えるきっかけになりました。日頃から課題に対して優先順位をつけて活動したいと思います。

今後の抱負 あらためて、兼任としての役割と範囲を意識したいと思います。優先順位の付け方は難しいと思いましたが、そもそも課題の見つけ方から検討したいと思います。今までのやり方では声を拾うことが難しいので「聴く」をどのように推進することがいいのか今後も他支部との交流や活動を通してヒントを得て、見出したいと思っています。



参加前の気持ち 一昨年、阪神阪急労働組合様との交流会以来の参加となりました。本部大会等で他支部の方と意見交換をしてはいましたが、深く話すまでに至らなかったため、今回の交流会は、それが叶うかな、と期待して参加しました。



参加しての感想 1日目に行われた「兼任役員が持つべき視点・スタンス・組合活動とは」の中で、兼任役員として求められていることに関して触れられ、とても考えさせられました。総務部所属であるがゆえ、職場懇話会などで立ち位置難しく感じる場面が多々ありますが、総務担当としての思いと組合としての思いの両方を言葉にして伝えてもいいんだな、と思えるようにもなりました。

今後の抱負 仕事をするうえで考えなければならない場面になったとき、個人の思い、総務担当として思うこと、組合の立場ならどう感じるか、色々な視点で思考を巡らせていきたいと思っています。もちろん、ひとりで考えるのではなく、周りの皆さまとも話して話して話して、考えを膨らませ、仕事に組合活動に活かしていきたいと思っています。



執行委員
藤野 宏美
三越銀座店総務部
渉外・庶務・コンプライアンス

参加前の気持ち 今回の高松4支部交流会には、他店の方々とどのような雰囲気交流できるのか、楽しみな気持ちと同時に少し不安もありました。普段はなかなか顔を合わせる事のない他支部の組合員の皆さんと、どんな意見交換や情報共有ができるのか期待していました。自分にとって新たな発見や学びがあるのではないかと、少し緊張しつつも前向きな気持ちで参加しました。

参加しての感想 参加してみて、他支部の皆さんと直接意見交換ができ、非常に刺激になりました。特に、現場の課題や取り組みについて、率直な意見や質問が飛び交い、自分の視野が広がったと感じます。また、普段はなかなか聞けない他店の現状や課題についても詳しく知ることができ、大変勉強になりました。交流会を通じて、組合活動の意義を改めて実感しました。

今後の抱負 今回の経験を今後の組合活動にしっかりと活かしていきたいと考えています。学んだことや感じたことを、まずは自分の支部での活動に反映させ、より良い職場づくりに貢献したいです。また、他支部とのつながりも大切に、情報共有や協力を積極的に行っていきたいと思っています。今後もこのような交流の機会に積極的に参加し、組合活動を盛り上げていきたいです。



執行委員
佐々木 直美
三越日本橋本店
総務部 総務担当

4支部合同情報交換会



参加前の気持ち 初めての参加だったことに加え、参加が4支部という複数支部にまたがる状況がどんな感じになるのか、色々な支部の話を聞くことができることはとても興味がありました。



参加しての感想 どの支部も業務との両立が難しい中、工夫をし、時間を作り組合活動をされているのだと思いました。

自分たちがやっていない好事例を知れたことや、また前例がないことを考える際は大胆な発想をすることも大切だと感じました。

今後の抱負 メンバーの声を聴く、吸い上げる、ことに気持ちが行きがちですが、その声をどう繋げ、活かしていくか、最後までフォローするようにしていきたいです。



執行委員
北野 深雪

伊勢丹新宿本店
婦人・宝飾時計・雑貨・子供営業部
販売担当

参加前の気持ち 昨年の福岡での交流会にも参加し、地域店の役員の方々には兼任でも重要ポストを担っている方が多いイメージがあったこと、会社の規模や状況も様々であること、このあたりがコミュニケーションをとるうえでの難しさとして印象に残っていたので、どのようなアプローチで情報を得るのか多少不安に思っている部分はありました。

参加しての感想 思っていた不安要素はありながらも、役員が持つべき視点という議論では業務との両立、思うように進められないことで感じる理想とのギャップがあることは各社メンバーの共通項でした。そんな時に立ち返る原点はどこにあるのか？それぞれがそこを忘れないようにすることが組合活動に関わる上で重要なのでは、という結論に至りました。

今後の抱負 新宿分会ではより一層VOICEサイクルの活性化のため、縦横の関係性を明確にして取り組んでいますが、ともに活動するメンバーの原点を明確にしながら、それぞれが効果的に関与していけるように働きかけることで新宿で働く皆さまのため、結果的により良い労働環境に寄与していくことなど自分自身も立ち返りながら様々な局面に対峙していきたいです。



執行委員
渡辺 泰介
伊勢丹新宿本店紳士営業部
販売担当

参加前の気持ち 昨年の岩田屋三越の交流会に参加した経験があったため、会場の雰囲気についてはある程度想像することができ、安心して臨むことができました。前回と同様に、地域店が抱える市況や経営課題、またメンバーの想いを知る貴重な機会となることを期待していました。

参加しての感想 各店舗が抱える課題や、経営に対する組合活動のあり方、本気度について強く感じる場面が多くありました。昨年の岩田屋三越での交流会と同様、兼任役員の方々が会社をより良くしたいという自律的な発言や行動に大変感銘を受けました。また、2日目の講義ではアウトプットまで実施されており、大変有意義な学びの機会となりました。全体を通じて、限られた時間の中で事前資料の読み込み等を工夫することで、より充実した内容にできるのではないかと感じました。



今後の抱負 2年連続で地域店の皆さまと交流したことで、組合役員として働く環境やメンバーを守るために、良質な危機感や覚悟を持って取り組む重要性を改めて認識しました。今後は兼任役員として、より主体的に組合活動に従事し、責任ある行動を心掛けていきます。



執行委員
登林 隆太
伊勢丹新宿本店
総務部庶務・施設・経理

4支部合同情報交換会



執行委員
篠崎 信彦
第1MDグループ
グループMD部
計画・総務・拠点ネットワーク
※2025年9月末まで
伊勢丹立川店営業部
食品レストランに在籍

参加前の気持ち 支店勤務が長く、地域店との交流が少なかった中、今回の交流会で新たな出会いや関係構築を期待していました。一方で、環境や人数の違いから学びが得られるか不安もあり、社会的ではない自分が三越伊勢丹支部の方々と交流できるかも心配でした。交流会では、普段の生活や業務の中では学べる機会がない都市デザインの講義に強く関心を持ち、「まち化」が進む郊外都市への理解を深めたいと思っていました。

参加しての感想 地域店の限られた時間や要員の中で、工夫を凝らしながら業務を推進している姿を知り、三越伊勢丹支部の恵まれた環境を改めて認識しました。各社の取り組みは業務だけでなく組合活動にも活かせると感じました。グループワークでは環境の近い方々と班を組み、課題や工夫の共有だけでなく、業務の悩みや取り組みも知ることができ、非常に濃密で有意義な2日間となりました。

今後の抱負 分会方針にもあるように、着実に成果につながる取り組みを、現場代表として意識しながら進めていきたいです。今後、立川店や支店地域店の環境や働き方が大きく変化する中で、兼任役員として従業員の声を丁寧に拾い、執行部の助言も得ながら、より働きやすく働きがいのある店舗づくりに貢献したいと感じました。そのためには、役員間の密なコミュニケーションが不可欠だと改めて実感しました。限られた時間の中で効率的に何ができるのかを模索しながら取り組んでいきます。



参加前の気持ち 今回、交流会へ初めて参加させていただきました。他支部との交流機会がほとんどなかったため、今回の機会をととも楽しみにしていました。

各社の状況については、これまで数値的な情報しか得られなかった中、近況報告にて細かい内容を知ることができ、地域店への理解が深まりました。また他支部との交流はもちろん、三越伊勢丹支部の役員同士の交流で横の繋がりを今までよりも持つことができました。

参加しての感想 初日のディスカッションでは各支部のVOICEサイクル活動を通じて、働く環境改善の取り組み意識の高さを感じました。「現場の声」を聴くためにリアルな場を大切に、正しい「現場の声」を経営に

伝え、環境改善に繋げる。改めて基本の大切さを再認識することができました。また2日目の西成先生の講義やディスカッションを踏まえ、まち化に対する理解が深まり、まち化を考える上で良いきっかけとなりました。

今後の抱負 今回の交流会を通じ、地域各社への理解が深まり、他支部の組合活動の好事例で活用・参考にできる取り組みもあり、多くの気づきを得ることができました。

「現場の声」の重要性を改めて実感したため、まずはリアルでVOICEに積極的に参加し、直接声を聞きたいと思います。自身の執行委員としての認知度も上げ、双方コミュニケーションが活性化するように努めていきたいです。



執行委員
小屋敷 透
外商統括部
法人外商グループ法人
第3営業部学校営業

参加前の気持ち 私にとっては瀬戸内エリア、高松三越に始めて訪問できる機会でした。4支部交流会を通じたグループの垣根を超えた交流により、組合活動のヒントとなる情報収集やグループ内のネットワーク強化に繋げるべく参加させていただきました。また、草間彌生さんのかぼちゃのオブジェで有名な直島や、開催中の瀬戸内国際芸術祭などアートに親和性が高い地域であり、美術担当としても興味関心があるエリアでした。

参加しての感想 地域店の組合役員の年齢層が若いことに驚きました。20代・30代の方々が積極的に組合活動を通して、働く環境の改善に努める姿勢に感銘を受けました。また、商売環境や決算状況、メンバーズVOICEの参加率の課題など、地域店ならではの交渉環境や、労使関係を知り、同時に首都圏の環境の特徴や恵まれている点を再認識する機会となりました。

今後の抱負 今回の交流を通じて、社内ネットワークを広げることができました。この経験を生かして、VOICEサイクルの更なる推進をすべく、目の前の組合活動において成果を積み上げていきたいです。



執行委員
田島 峻一郎
伊勢丹浦和店
営業部GF

三越伊勢丹グループ労働組合 × 情報交換会 東急百貨店グループ労働組合

目的

情報交換会は、他労組との間で組合活動や業務上の課題について情報を共有・交換することで、参加者の知見を深め、より主体的な組合活動への参加や担当業務への情報活用を促進することを目的として開催しました。

また、参加者同士のネットワークを築くことで視野を広げ、今後の三越伊勢丹メンバーにおける組合活動の活性化にもつなげていきます。

カリキュラム

アイスブレイキング	全員で自己紹介
開会の挨拶	三越伊勢丹支部 杉田書記長より
三越伊勢丹グループ労働組合より	組織構成・役割など、報告
東急百貨店グループ労働組合より	組織構成・役割など、報告
グループディスカッション	①組合活動について ②業務に関する内容について
閉会の挨拶	東急百貨店支部 篠田中央執行委員より

参加者の感想

参加前の気持ち 東急百貨店の組合活動に対する積極性や頻度など、自身の活動と比べてどのように違いがあるか、又、会社として課題としていることはどんなことなのかとも興味がありました。



参加しての感想 組合活動については、活動しやすい環境の方もいれば通常の業務が忙しいことや、上長の理解がないことで活動が不十分になっている方もいらっしゃいましたが、どのように両立しているのかなどが議論にあがり、両社とも、組合役員であることに責任を持って活動していると感じました。

今後の抱負 自身の境遇だけでなく周りのメンバーのことも把握していると、このような情報交換会で多くの情報を交換・お伝えできると感じたため、普段からメンバーとのコミュニケーションを心がけようと思いました。



執行委員
安藝 琴音
第2MDグループ
新宿婦人・子供商品部
MD担当 TOKYOクローゼット



執行委員
高橋 亜希
伊勢丹新宿本店
紳士営業部イセタンハネダストア
(メンズ) T1

参加前の気持ち 他社の労働組合の方と情報交換会をすることが初めてでしたのでどんな雰囲気なのかと不安とワクワク感がありました。

また、同じ業界でも社風などの違いなど三越伊勢丹と大きく異なることなどがあるのかな？と興味もありました。

参加しての感想 東急百貨店の労働組合の方は、若い人が多いことに驚きました。それだけ若い力の熱意を感じました。

情報交換会のなかで、仕事のスキルの違いによって同じ仕事でもかかる時間・精度にバラツキがあることを話されていた方がいらっしゃいました。私自身も同じようなことを感じるがあるので、生産性を上げて行くためにも個人としてではなく、会社や業界全体として教育や勉強会などがあってもよいのでは？と感じました。

今後の抱負 仕方ない…、とあきらめるのではなく、より良くなっていくためにはどうしたらよいのか？と自社内にとどまらず、視野を広く、アンテナを高く持ち積極的に、より良くなっていくよう行動していこうと思いました。





執行委員
池田 英生
新宿店営業計画部
営業推進

参加前の気持ち 他の百貨店の方とお話をして業務に関する情報交換をする機会は滅多に無い事ですので、特に自身の業務において参考に使っていただけるような情報を得られるよう、積極的に皆さまのお話を伺いたいと思っていました。

参加しての感想 普段の業務の中ではお話する機会が無い東急百貨店グループの皆さまにたくさんのお話を伺う事ができ、非常に貴重な経験になりました。組合活動についての会話の中で特に印象に残った事は、活動内容発信の為にアプリを従業員の皆さまに登録していただく過程の中でたくさんのご苦労や工夫をされていて、それが登録率において非常に高い成果に繋がっているという事です。また、上位顧客向けの施策について情報を教えていただき、自身の業務にも活かせる可能性を考えながら興味深いお話を伺えた事が大変勉強になりました。

今後の抱負 今回東急百貨店グループ労働組合の皆さまと情報交換をしてたくさんの気付きや発見があったように、普段の業務の中でも自身の考えや経験だけに縛られず、周りの情報に常にアンテナをはり、参考にする為の意識をもって業務にあたります。



参加前の気持ち 他社の方との交流が初めてなので、組合活動だけでなく働き方などをうかがえる素晴らしい機会だと思いとても楽しみにしておりました。また、同じ業種なので良いところや課題などを学ばせていただき、今後に役立てようという思いでした！

参加しての感想 東急さんの組合アプリの普及度が高く、クーポン配布などメンバーの関心をひく便利な手段だと感じました。また双方で組合活動についてメンバーの理解度の高め方にお互い同じ悩みを持っていた事について話す所要時間が長くなってしまった。

- とても有意義なディスカッションで時間がなく、質問ヒアリングシートがあったが、東急さんの質問に対して回答に全て答えられなかったのが残念であった。
- 懇親会でディスカッション班と同じであったため、話せなかった内容の延長で質疑応答ができた。先方の組合費が高くて驚いた。

今後の抱負 基本に立ち戻りコツコツしっかりメンバーと向き合います！



執行委員
岩本 智美
伊勢丹新宿本店
紳士営業部イセタンメンズ
レジデンス所属

海外流通視察セミナー in マレーシア

立候補のきっかけ

インバウンドや外国人労働者が年々増加していくなかで、今後に向けて「世界」目線を養う必要があると思っている時に、専従の方に海外視察セミナーを紹介いただいたことがきっかけです。

マレーシアの情報

〈民族〉マレー系、中華系、インド系 等
 〈宗教〉イスラム教、仏教、キリスト教、ヒンドゥー教 等
 〈首都〉クアラルンプール
 〈経済〉成長率は年平均4% ※日本は1%ほど
 〈平均年収〉日本円で約140万円



執行委員
阪根 尚樹
 第1MDグループ
 新宿 食品・レストラン商品部
 他階催事

目的

①三越伊勢丹で働く社員としての目線

自身が「インバウンド」となって、現地の商業施設を視察することで、海外顧客のニーズを捉え、今後の海外進出や国内事業に生かす。

②三越伊勢丹の組合役員としての目線

多民族国家のマレーシアにて、文化を超えた働き方、マネジメントを知ること、今後社内でも増加が見込まれる外国人の働き方について、組合としてどうあるべきかを考える。

タイムスケジュール

両日とも
 クアラルンプールにて

1日目

イオンマレーシア視察 & レクチャー

中間層をターゲットに、マレーシアに適應した自社ブランド製品を現地で生産



ミッドバレーメガモール視察

マレーシア最大級のモール。ハイブランドとミドルブランドのモールを併設



スリアKLCC視察& モール内の伊勢丹にてレクチャー

観光&日常が一体化したモール。水族館やコンサートホールも備わっている

2日目

TRX視察& モール内の西武にてレクチャー

金融街の中のモール。オフィス需要も兼ね備えている



スターヒル視察

ラグジュアリー層特化型モール。ここにしかない出店がないブランド多数

パビリオン視察

市街中心部のメガモール。夜中2時まで営業することで、ナイトタイム需要を取り込む



ららぽーとBBCC視察

若年層、ファミリー層特化。日本のアニメ・マンガに関するお店が多い

感想

マレーシア(クアラルンプール)では日本よりも何倍も大きい大規模商業施設が乱立するなかで、それぞれの商業施設が独自性を持つことで競争に勝ち残っているのがとても印象的でした。また、多民族国家であるからこそ、各従業員はお互いの文化を尊重した働き方が染み付いていました。(ムスリムのお祈りの時間には、自然と他の宗教の方がフォローにくるなど)

今後の抱負

日本もより一層多国籍の人々と共生する社会となっていくなかで、三越伊勢丹での働き方においても、自然と異文化を尊重するような風土作りを推進していきたいです。

三越伊勢丹支部のホームページを活用していますか？

㈱三越伊勢丹在籍のメンバーの皆さんが組合員として知っておくと役に立つ情報を、三越伊勢丹グループ労働組合(IMGU)ホームページ内「三越伊勢丹支部のページ」に集約しています。労働協約や議案書から、職場親睦会補助やレクリエーション報告まで、組合活動に関するあらゆる情報を2011年度分より保管しています。メンバーの皆さんが、三越伊勢丹でよりやりがいを持って働くためにも、ホームページに掲載の情報をフルにお役立てください！

〈三越伊勢丹のページ〉



こちらのQRコードから
(クリック)

探している情報の「単語」を入力すると、関連するタイトルのページが出てきます！



三越伊勢丹支部

- 2025.09.24 **④分会活動報告** **新着** 【本社周辺分会】“わたらしい”働き方、見つけよう。テーマ別VOICE開催報告
- 2025.09.20 **④支部活動報告** **新着** 【三越伊勢丹支部】25年9月経営懇話会報告
- 2025.09.15 **④分会活動報告** **新着** 【外商統括分会・法人外商G】法人外商新聞を発刊しました！
- 2025.09.15 **④支部活動報告** **新着** 【ダイバーシティ活動】特別講演「育児とキャリアの向き合い方」聴講できます！
- 2025.09.12 **④分会活動報告** **新着** 【新宿分会】2025年度ボウリング予選大会開催しました！

直近アップされた情報は
こちらに掲載されます！
(一番上が最新)

各分会の取り組みや分会で
発刊する広報については、
こちらに保管されています。

三越伊勢丹支部ライブラリー

- ①組合運営: 組合の活動方針や運営体制、役員紹介
- ②支部活動報告: 社会貢献・渉外・教育・経営懇話会など支部の活動状況
- ③分会活動報告: 各分会の活動状況、VOICEサイクルの進捗
- ④メンバーズVOICE・労使通年協: 議案書、説明動画・速報・VOICE Flashなど
- ⑤制度・ルール: 労働協約・働き方ハンドブック、職場の風土改革など
- ⑥風土改革・コミュニケーション: 風土改善・交流促進ツール
- ⑦情報共有・広報: 支部広報(VOICE Times)その他特集記事
- ⑧よくある質問: 働く上での素朴な疑問・福利厚生・お悩み解決Q&Aなど

年3回の
メンバーズVOICE議案書や
大会・労使協議会報告などが
保管されています。



年度ごとに更新される労働協約や働き方ハンドブック、風土改革に関する資料などが保管されています。



現在連載中の
お悩み解決
Q&Aは
こちらに保管
されています。

職場親睦会補助

職場の皆さん同志のコミュニケーション促進の一助となるよう、職場のメンバー間で実施する飲食を含めた歓送迎会・団結会開催時に職場親睦会補助をします。

※所属や担当で懇親を深めることが主旨ですので、個人間での利用はできません。

2025年7月～
提出するエクセルシート
変更しました!



- **申請可能期間** 所属ごとに1回/年(4月～翌3月)
- **補助金額** 共済会員1人当たり1,000円を上限に総経費の半額※まで
※オンライン懇親会の場合のみ、在籍共済会員数×500円を上限、且つ総経費の半額まで
- **申請方法** 開催1週間前までに申請が必要。(下記手順参照)

上QRコードから「職場単位レク補助」エクセルデータをダウンロードし申請を行う

●申請から振り込みまで(○は要提出)

1
開催1週間前まで

担当の**組合専従に提出する**

- 事前申請書
- 出席者リスト(参加予定者)



2
開催日当日

お店で**領収書の発行依頼**をする

- 【注意点】▶宛名は「IMGU」
▶但し書きは「お品代」は不可
▶現金5万円以上は収入印紙を貼り、割印に注意
▶オンラインは開催日含む3日以内のもの



3
実施後2週間以内

MI支部の**職場親睦会担当者**に提出する

- 報告書
- 開催単位所属の全員へ発信したことがわかる発文(メール・チャット等の本文でも可)
- かかった経費全ての領収書(宛名は「IMGU」/但し書きは「お品代」は不可)
- 参加した全員のリスト(開催前に提出した出席者リストから変更があればファイル上で修正)
- オンライン開催時のみ(リアル開催は不要。全員が参加している様子の分かるスクリーンショットまたはそれに準ずるもの)

4
受理完了

組合にて**最終確認後、振り込み**ます!

振込口座は、申請者もしくは参加者の誰かの口座を使用。全く関係ない人の口座への振込みはできません。

提出物の内容を確認した後、補助金額を口座に振り込みます。(提出物に不備がある場合は、再度確認が必要になります。そのため事前に振り込み日を伝えることはできません。)

自己啓発支援制度

あたらしいこと、
はじめてみよう!

最近自分のための
学びなおしをする人が増えています。
資格・体づくり・趣味の一環など、
内容はさまざまです。
年度末は混みあうため、
計画的な申請に
ご協力をお願いします。



■申請受付累計期間

- 毎年4月1日～翌年3月31日
- 年間利用上限に達するまで補助対象であれば何回でも申請OK

■補助金額

組合員	総額に対して1/2 → 年間利用上限 40,000円/人
非組合員	総額に対して1/4 → 年間利用上限 20,000円/人



↑詳しくはこちらから